

会員会社紹介

株式会社 安藤・間

イノベーション部 ITソリューショングループ
杉山 律



安藤ハザマは、建設事業で社会を支える企業グループとして国内外で活動を展開しています。2013年に、旧安藤建設と旧間組が合併して現在の安藤ハザマとして再出発しました。事業は大きく土木事業と建築事業に分けられ、土木事業においては、生活の基盤となる道路・鉄道などの交通網、上下水道・電気などのライフライン、エネルギー施設などの社会資本の整備を担っております。また、建築事業においては、計画段階から設計、施工、メンテナンス、リニューアルまで建築物のライフサイクル全てにわたってサポートしています。代表的な建造物には、土木では黒四ダムや青函トンネル、建築では東京ビッグサイトやクアラルンプールのペトロナスツインタワーなどがあります。

今、建設業界では、ICTを全面的に活用した生産性の向上を目指しています。国土交通省においては、少子高齢化による建設現場の担い手不足を解消し、魅力ある建設現場を目指す施策としてi-Constructionを推進しており、ICT導入協議会、i-Construction推進コンソーシアムなどを立上げ、産官学一体となった活動を行っています。さらにその先には、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させることにより実現する Society5.0

を目指しています。この新たな3次元データを基軸とする建設生産・管理システムを実現するためBIM/CIM(Building/Construction Information Modeling, Management)の概念を再構築し、ICTとの連携強化を推進しようとしています。

このような背景の中で、当社においても、ICT、BIM/CIMを活用した建設現場における生産性向上は、最も重要な課題の一つと捉えております。しかしながら、建設業界には、ICTを専門とする企業、組織は稀であり、他産業、特に情報通信産業との連携は不可欠と考えております。当社もアクセラレーター2019を立上げ、広くスタートアップ企業との連携を試みていますが、従来の技術・知識では、解決できない課題をICTという切り口で、情報通信産業の方々との連携を深めることで解決していくことが重要と考えております。

以上のような状況の中、2020年7月に一般社団法人情報通信技術委員会の会員として迎えていただくことになりました。業界の異なる異色の会員ではございますが、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



黒四ダム



東京ビッグサイト



アクセラレーター 2019